

2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和2年度事業の実施状況 (令和3年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和2年度事業の成果等	
				R元実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R元目標	R元実績		達成率
				R2実績					R2目標	R2実績		
				R3計画	R3目標	R3実績						
事業実施の根拠法令条項				事業対象								
事業期間				法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究等)						
所管課(室)名												
取組項目 i	○	1	ながさき男女共同参画 “輝き”プラン推進事業	/	/	/	第4次長崎県男女共同参画基本計画に基づき、県、男女共同参画推進員・アドバイザー、市町、男女共同参画推進センター等の連携を強化し、長崎県男女共同参画基本計画を効果的に推進	【活動指標】	/	/	/	-
			(R3新規)R3-5	13,014	13,014	5,497		【成果指標】	10	/	/	
			男女共同参画社会基本法第9条					当該年度における男女共同参画推進員数(人)	34	/	/	
取組項目 ii	○	2	男性の家事育児等参画 促進事業	2,814	1,431	5,568	家族との時間について考える「パパ検定動画」や、家族と一緒に取り組む「パパ検定シート」により、男性の家事・育児等への参画について意識改革を図った。	【活動指標】	2	2	100%	●事業の成果 ・「パパ検定動画」がSNSを中心に全国的に話題となり、多くのメディアで取り上げられたほか、「パパ検定シート」を実践する親子の様子がTwitter等に投稿されるなど、幅広く活用されている。 ・「パパ検定動画」の再生回数は100万回を超え(R3.7月末時点)、多くの方が視聴している。
			(R3新規)R3-5	2,959	1,481	4,694		R元:2:啓発動画コンテンツの製作本数(本)	2	2	100%	
			男女参画・女性活躍推進室	2,421	1,322	4,712		R3:ロールモデル集の製作数(種類)	2	/	/	
			R元-3	-	-	-		【成果指標】	45.2	45.2	100%	
			男女参画・女性活躍推進室	-	-	-		R元:家庭生活において男女が家事や育児等を協力して行っていると思う人の割合(%)	43.2	41.9	96%	
				-	-	-		R2.3:20~59歳のうち、家庭生活において男女が家事や育児等を協力して行っていると思う人の割合(%)	44.0	/	/	
取組項目 iii	○	3	女性が活躍できる環境 づくり事業	/	/	/	①女性活躍推進企業の見える化等による一般事業主行動計画の策定促進(女性活躍推進企業の新聞・タウン情報紙掲載・アドバイザー派遣等) ②女性にも魅力的な職場環境等の見える化(幅広い分野で活躍する女性を就活と進学の情報誌・タウン情報誌で紹介、女子高校生&保護者向け企業見学、女子大生向け企業見学) ③「ながさき女性活躍推進会議」と連携した経営者セミナーや管理職登用に向けた女性人材育成講座等の実施	【活動指標】	/	/	/	-
			(R3新規)R3-5	17,672	8,837	14,135		ミドルマネジメント講座実施回数(回)	3	/	/	
			女性活躍推進法第3条					【成果指標】	90	/	/	
			男女参画・女性活躍推進室	○	-	-		「ミドルマネジメント講座」受講者のうち、管理職になることに前向きになった人の割合(%)	/	/	/	
○	4	女性の未来参画推進事業	/	/	/	若い女性の視点を取り入れたまちづくりに、女子大学生等が主体的に関わることで、地元への愛着を深めてもらうとともに、女性に選ばれるまちづくりへの提案をすることで、まちの未来に参画していただく取り組みを、県内大学や商店街等と連携して実施	【活動指標】	/	/	/	-	
		(R3新規)R3-5	3,260	1,632	7,853		まちづくり等実施箇所数(箇所)	1	/	/		
		男女参画・女性活躍推進室	-	-	-		【成果指標】	90	/	/		
			参加学生の地元への愛着意識の醸成度(%)	/	/	/						

取組項目iv	○	5	介護ロボット・ICT普及促進事業(医療介護基金)	10,111	0	5,477	介護職員の労働環境改善を図り、介護ロボット・ICTの普及をより一層促進させるため、効果検証や普及活動に協力していただけた事業所等に対し、導入経費を助成するとともに、導入効果を「見える化」したマニュアルの作成や、未導入の介護事業所に対するモニタリング(試用貸出)を実施するなど、効果的な導入支援を図った。	【活動指標】 R2:モニタリングにおいてコーディネーターが支援した事業所(箇所)	4	5	125%	●事業の成果 ・成果指標は達成できなかったが、モニタリング事業所が介護ロボットを効果的に活用するための課題整理等につなげることができた。 ・マニュアル作成や導入補助金により、県内事業所における介護ロボット導入を促進できた。
				1,690	0	5,104		R3:セミナー・見学会開催回数(回)	2			
			R2-4	—			【成果指標】 R2:モニタリングにより実際に機器を導入した事業所割合(%)	100	80	80%		
			長寿社会課	—	—	—	介護事業所等	R3:セミナーを機に介護ロボット等の導入を検討すると決めた事業所の割合(%)	50			
取組項目v	○	6	女性の再就職応援事業	14,272	7,186	6,363	長崎県人材活躍支援センター内に設置した「ウーマンズジョブほっとステーション」における就業相談(個別・オンライン・電話・出張相談)や就職支援セミナー(対面)の実施により、育児・介護などで制約の多い女性の就業について、相談者一人ひとりに寄り添った支援を行った。	【活動指標】	1,500	648	43%	●事業の成果 ・コロナ禍において、来所による個別相談が厳しい状況であったため、継続相談者へ電話による就業支援を積極的に実施した結果、相談件数は増加したが、求職活動を休止された方、求人の減少などにより、就職者数は目標を達成できなかった。
				12,958	6,480	6,259		「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間延べ相談件数(件)	500	1,029	205%	
				13,162	6,581	4,712		【成果指標】 R元2:「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数(人)	1,000			
			H29-	女性活躍推進法第3条			R元2:「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数(人)	458	523	114%		
			男女参画・女性活躍推進室	○	—	—	就職を希望する女性	R3:当該年度内の就職・起業を希望するウーマンズジョブほっとステーション利用者のうち、就職・起業した人の割合(%)	59.7			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	男女共同参画に関する広報啓発や情報提供、相談、研修会の実施	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>(検証)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で普及・啓発を行う人材育成のため引き続き「地域における男女共同参画推進研修」「地域における男女共同参画リーダー育成事業」を実施し、県が委嘱している男女共同参画推進員等の活動や、県内8地域に設置した地域活動促進会議などの地域に根ざした取組を支援する必要がある。 ・推進員による地域の実態にあった広報啓発活動が求められる。 <p>(課題)</p> <p>地域における男女共同参画を推進するうえでは、知識だけでなく、地域課題に応じた啓発やその手法、地域でのネットワークの構築及び活用が求められ、さらに普及啓発のための十分な人員が必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>各地域の男女共同参画推進のリーダーとなる方々が地域で主体的な活動に取り組むためには、めまぐるしく変化している社会情勢に伴う男女共同参画に関する情報や更なるスキルアップが必要であるため、引き続き「地域における男女共同参画推進研修」及び「リーダー育成事業」を実施するとともに、男女共同参画推進に向けて活動していただけた新たな人材の掘り起こしを行っていく。また、地域の実態にあった広報啓発の手法について更に検討を進める。</p>
ii	男性の家事・育児等への参画促進に向けた意識醸成や男性の育児休業取得に対する理解促進	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>(検証)</p> <p>「パパ検定動画」の再生回数が飛躍的に伸び、また、「パパ検定シート」が幅広く活用されるなど、両コンテンツとも全国的に話題になったことで、意識改革のツールとして有効であることが分かった。</p> <p>(課題)</p> <p>今後もこのツールを活用して、男性の家事・育児等への参画について理解促進を図る。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>気運醸成に係る啓発コンテンツを更に活用するとともに、家事・育児等への参画に向けた男性自身の意識醸成や男性の育児休業取得に対する職場・地域の理解促進を図っていく。</p>

<p>iii 女性が活躍できる環境づくりに向けた経営者等の意識改革促進や管理職登用にに向けた女性人材育成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 (検証) 官民連携組織である「ながさき女性活躍推進会議」と連携して、男女がともに働きやすい環境づくりを推進するため、引き続き経営者セミナーや女性の更なる管理職登用にに向けた人材育成研修等を実施する必要がある。 (課題) 魅力的な仕事や希望する職種がないなどの理由により、就職のタイミングでの若い女性の人口流出が顕著である。また、女性が活躍できる場が少ないと思われる傾向にある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 引き続き経営者の意識改革促進や管理職登用にに向けた女性人材育成等に取り組むため、経営者・管理職、女性社員等を対象としたセミナーなど、中長期的な人材育成の観点に立った取組を行っていく。 また、女性活躍推進に注力している県内企業を見る化して企業イメージを向上させることで、女性活躍推進の気運を高めていく。</p>
<p>iv 介護・福祉施設等における参入促進・勤務環境改善に向けた介護ロボット・ICT等の導入促進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 (検証) モデル事業所における導入プロセスやその導入効果の事例をマニュアル化して横展開を図るとともに、「感染症対策に資する介護ロボット等導入促進事業」により、多くの介護事業所において介護ロボット等の導入が進んだ。 (課題) 平成30年度に実施した、介護ロボット・ICTの導入実態調査結果を踏まえ、本事業に取り組んでいるが、現時点で、導入がどの程度進んでいるのか、活用されているのか十分に把握・検証できていない。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 介護ロボットやICTの導入支援により、介護職員の負担を軽減し、労働環境の改善を図るため、現在の導入状況やその効果等を把握・検証したうえで、今後の支援策を検討する。</p>
<p>v 女性のライフステージに応じた就業支援等</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 (検証) 引き続き働きたい女性の希望に寄り添い、不安解消へのサポートを行い、就業に向けた支援を行う必要がある。 (課題) 求人の減少等により、就職者数が大幅に減少している。また、電話やオンラインによる相談ができる体制があるにもかかわらず、利用者の多くが長崎市近郊に偏っている。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 引き続き、ウーマンズジョブほっとステーションにおいて、就業相談(対面・オンライン・電話)やセミナー(対面・オンライン)を実施することにより、県内全域に対し、女性の就業支援を行う。 また、相談内容や適職診断などから、就業に向けた手段として相談者のライフステージに応じた学び直し(リカレント)の情報提供を行う。</p>

4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容		令和4年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和3年度の新たな取組は「R3新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	ながさき男女共同参画“輝き”プラン推進事業 (R3新規)R3-5 男女参画・女性活躍推進室	R3新規	②⑤	「地域における男女共同参画推進研修」「リーダー育成事業」については、これまでの実施結果を踏まえ、今後の各地域の人材育成の内容を検討するなど、今後の事業構築につなげる。広報啓発・情報提供については、地域の実態にあった手法、内容を検討し実施する。	改善
取組項目 ii	○	2	男性の家事育児等参画促進事業 R元-3 男女参画・女性活躍推進室	これまで本事業で制作したコンテンツを更に広報・啓発していくとともに、各家庭・企業で参考にできるような、家事・育児等のシェアの方法やワーク・ライフ・バランスの推進について事例集を制作する。	②⑥	本事業は令和3年度で一旦終了となるが、男性自身の更なる意識醸成や各家庭での実践、経営者等の意識改革や男性のワーク・ライフ・バランスに係る環境整備を促すなど、男性の家事・育児等の参画促進につながる施策の在り方について、これまでの実績等を踏まえ、効果的な取組を実施する。	終了
取組項目 iii	○	3	女性が活躍できる環境づくり事業 (R3新規)R3-5 男女参画・女性活躍推進室	R3新規	②⑤⑥	女性活躍推進企業や幅広い分野で活躍するロールモデルの見える化、「ながさき女性活躍推進会議」と連携した各種事業を実施し、女性のキャリア形成につながる働き方などを支援するとともに、県内企業における女性活躍の気運醸成を図る。	拡充

取組項目 iii	○	4	女性の未来参画推進事業 (R3新規)R3-5 男女参画・女性活躍推進室	R3新規	①②④⑦	引き続き、若い女性の視点を取り入れたまちづくり支援に関わりフォローアップを行うとともに、他の地域においても取組を行い、地元への愛着を深めてもらうための取組を進める。	拡充		
		取組項目 iv	○	5	介護ロボット・ICT普及促進事業(医療介護基金) R2-4 長寿社会課	介護ロボットやICTの導入実態や導入効果、導入意向等を把握するため、介護事業所に対するアンケート調査を実施する。	②	令和3年度に実施するアンケート調査の結果等を踏まえ、効果的な導入支援に取り組んでいく。	拡充
				取組項目 v	○	6	女性の再就職応援事業 H29- 男女参画・女性活躍推進室	引き続き、ウーマンズジョブほっとステーションにおける就業相談(対面・オンライン・電話)を実施し、働くことを希望する女性への支援を行うとともに、R3からは、対面に加えオンラインを活用したセミナーを開催するなど、県内全域に向けた更なる就業支援を行う。	③④

注:「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点